

非財務資本の強化

ダイセキグループはこれまで受け継がれてきたダイセキのDNAを継承しながら、人的資本、社会関係資本、知的資本、製造資本、自然資本といった非財務資本を強化して成長戦略に繋げていきます。

非財務資本	現状(2023年度)
 <p>人的資本</p>	<p>女性管理職比率……………連結 5.0% 単体 3.8%</p> <p>有給休暇取得率……………連結 63.4% 単体 70.1%</p> <p>離職率……………連結 3.9% 単体 1.9%</p>
 <p>社会関係資本</p>	<p>ダイセキ(単体)と取引のある日本国内の従業員数100名以上の工場の数……………5,931社</p> <p>コンプライアンス遵守……………事業統括本部と企画管理本部が対応</p> <p>CDPスコア……………A</p>
 <p>知的資本</p>	<p>技術開発：環境関連の分析技術、及びリサイクル技術の開発</p> <p>大学発ベンチャー企業とのMOF(金属有機構造体)を用いたアンモニア回収技術の共同開発</p> <p>新規事業：5件の新規事業案件のビジネス化に向けて16名の社員が活動中</p>
 <p>製造資本</p>	<p>設備投資額……………5,254百万円</p> <p>活性汚泥処理槽の大きさ……………18,471m³</p> <p>活性汚泥処理施設が1日で処理できるBOD※……………9,644kg</p> <p>大型収集運搬車両数……………178台</p> <p>※BOD(Biochemical Oxygen Demand:生物化学的酸素要求量)好気性微生物によって有機物が分解されるときに消費される酸素の量を示します。最も広く使われている汚濁の指標で、汚染度が高いとBODが高くなります。</p>
 <p>自然資本</p>	<p>温室効果ガス排出量削減率※……………2%</p> <p>再生エネルギーの導入率……………28.3%</p> <p>CO₂以外の環境負荷低減目標……………設定なし</p> <p>※自社が排出するScope1+Scope2排出量の2021年度を基準年度とした時の削減率</p>

非財務資本を強化する施策

関連ページ

- ダイバーシティ、人材育成の推進
- 職場環境改善活動の推進
- 健康経営の推進、職場環境改善活動の推進

P61-P62
P63
P60、P63

- サーキュラーエコノミー事業の展開による顧客基盤の拡大
- コンプライアンス体制の強化
- カーボンニュートラルの推進

P6-P9、P16-P17、P46
P77
P44-P45、P51-P55

- 技術開発の推進
- 大学・企業との新技術の共同開発
- 新規ビジネスの開発

P79
P6-P9、P16-P17
P6-P9、P16-P17

- 手薄な国内エリアへの新事業所の開設
- 処理能力の増強
- 災害復旧支援体制の維持、収集運搬に必要な設備と人員の確保

P18-P19
P18-P19
P18-P19、P47

- SBT目標の達成に向けた施策の推進
- 再エネ導入と省エネ活動の推進
- 水資源、大気汚染物質、化学物質、有害物質の排出量の削減

P55
P55
P57